

広報

いわてまち

Iwate-machi Monthly Public Relations Paper

2021

11

令和3年

No.749

祭り
囃子ぼや
子こ
に

心も踊る

五穀豊穡を祝う沼宮内稻荷神社例大祭が10月2日に行われました。境内では風流山車や町内の4つの郷土芸能団体による、力強い太鼓のリズムや軽やかな笛の音に合わせて伝統の舞などが披露されました。(関連記事2~3頁)

川口と沼宮内のお稲荷さんで例大祭



新町組 風流山車
「助六」



川口神楽



川口きつね踊り

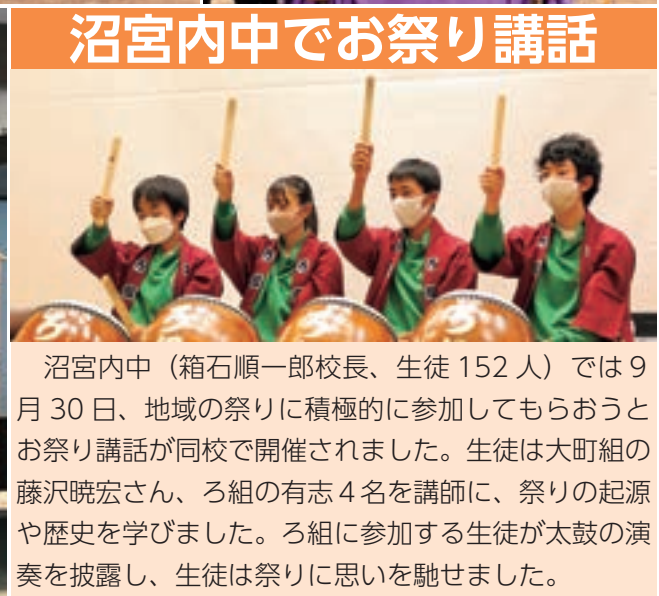


新町組
見返し「鶴と亀」



大町組 風流山車
「義経八艘跳び」

街の駅に展示されたミニ山車



沼宮内中でお祭り講話

沼宮内中（箱石順一郎校長、生徒152人）では9月30日、地域の祭りに積極的に参加してもらおうとお祭り講話が同校で開催されました。生徒は大町組の藤沢暁宏さん、ろ組の有志4名を講師に、祭りの起源や歴史を学びました。ろ組に参加する生徒が太鼓の演奏を披露し、生徒は祭りに思いを馳せました。



沼宮内駒踊り



五日市獅子踊り



沼宮内七ツ踊り



五日市獅子踊り

勇壮華麗に祝う



沼宮内七ツ踊り



北上川清流太鼓



郷土芸能団体が豊穣祝し活気に溢れる演舞を披露

実りの秋を迎え、9月26日に川口豊穣稲荷神社例大祭、10月2日に沼宮内稲荷神社例大祭が開催されました。両地区とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年に引き続き風流山車や郷土芸能の運行は中止となる中で、秋晴れの下、奉納が行われました。

沼宮内稲荷神社祭典では、甲高い笛や太鼓の音が境内に鳴り響き、郷土芸能団体の数々が勇壮華麗に舞や力強い演奏を披露。各組の代表者による声高らかな音頭上げが行われると、多くの見物人から盛大な拍手が送られました。また、奉納後には新町組の風流山車が特別運行。多くの沼宮内地区の祭り関係者が「ヤーレ、ヤーレ」と大きな掛け声をかけ、一緒に1台の山車を引き、秋空に笛や太鼓を響かせ、大町までの目抜き通りを練り歩きました。集まった子どもからお年寄りまで多くの人々は、秋祭りの活気あふれる雰囲気を楽しみ、マスクの下から笑顔を見せました。

町総合計画が始動

(2021~2030)



町が目指す将来像

わたしたちが創る 笑顔がいっぱいいわてまち



まちづくりの指針
町総合計画を策定

町は、今後10年間のまちづくりの指針となる「岩手町総合計画」をスタートさせました。

町には少子高齢化や人口減少をはじめ、たくさんの課題が存在します。少し視点を変えてみると、課題を解決することで、より幸せな未来を築くことができるチャンスでもあると言えます。町が目指す将来像は「わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち」です。町総合計画をきっかけに、町のみなさん一人ひとりがまちづくりの主役となり、明るい町の10年後を一緒に創っていきましょう。

町のホームページに総合計画(全編、概要版)を掲載しています。



Q そもそも総合計画って？

暮らしやすい町のため
ミライを実現する計画

総合計画は町をより暮らしやすい町にしていくための計画です。町が目指す未来の姿をはっきりさせ、実現するための取り組みをまとめていきます。計画の期間は2021年から2030年までの10年間です。

計画は、町の皆さんの思いや願いが反映された計画になるように、子どもたちや親世代、ボランティア活動や色々な仕事に携わる人など、まちづくりに関係する皆さんと、ワークショップや地区懇談会を行い作成されました。この計画は、町が目指す未来の姿を共有し、誰がどんなことに取り組むのかを明らかにするために必要です。よりよい町のためにみんなで力を合わせて一緒に取り組んでいくことが大切です。未来のために何ができるか、いまから一緒に考えてみませんか。

計画の構成と期間

基本構想 まちづくりの将来像
10年間 (2021年から2030年)

基本計画 基本構想を実現するための方針
前期5年(2021年~2025年)
後期5年(2026年~2030年)

実施計画 どんな事業を実施するか
前期5年(2021年~2025年)
後期5年(2026年~2030年)
※毎年見直しを行います



「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3層でつくられます

3つのまちづくりの手法

将来像の「わたしたちが創る 笑顔がいっぱい いわてまち」を実現していくために、3つの手法に取り組めます。町では共通の3つの手法をあらゆる場面で生かすことで、町の皆さんがつながり、支え合い、お互いを高め合い、笑顔に満ちた活動の輪が広がっていきます。

「まちづくり」は「ひとづくり」です。私たち一人ひとりが、「まちづくり」への関心を持つことで、住みやすい地域を自分たちでつくることができます。

地域への愛着が深まると、このまちで暮らすことに「幸せ」と「誇り」が生まれ、「うるおい」を感じるようになります。みんなで笑顔があふれ、「これからも町に住み続けたい」「岩手町に住んで良かった」と誇れる、夢のあるまちであり続けることを私たちは目指していきます。

地域への愛着 誇りの醸成 (シビックプライド)

町に関わる全ての人々が「岩手町」に誇りを持ち、自ら、主体的に町に関わります。

まちのブランド化 (ブランディング)

町独自の魅力を生かした「岩手町ブランド」で稼ぐ町を実現するための仕掛けに取り組めます。

持続可能性の追求 (SDGsの取り組み)

SDGsの取り組みを進め、人や産業の交流を通じてまちの活性化と、長期的に発展する仕組みを構築します。



町各種審議会と委員の紹介

(敬称略、順不同)

◆総合計画審議会(13人)

委員長 八戸保彦 副委員長 大坊邦子
委員 藤原徳明 月花稔 松本榮 幅清一
久保郁子 大巻勝徳 佐藤久 佐々木昭光
水本健一 藤原哲雄 岩崎晋

◆行財政審議会(10人)

委員長 早坂信一 副委員長 中村司
委員 高橋榮基 大久保裕勝 乙茂内利夫
三浦一彦 岩崎幸子 柴田修一 後藤睦
滝沢光也

◆社会厚生審議会(11人)

委員長 遠藤邦則 副委員長 遠藤美江子
委員 谷地由實 竹田裕子 阿部豊 中関康一
田中忠一 埜崎富江 藤原淳子 横沢泉
水賀美洋子

◆産業経済審議会(9人)

委員長 千葉一幸 副委員長 伊藤武志
委員 松本良子 佐々木金見 岩崎純一 立花
久良 瀬川正春 榊田光男 熊林利子 宮崎守

◆都市計画審議会(10人)

会長 瀬川實 会長職務代理者 富岡治安
委員 松村昭一 大森次郎 岩崎欽弥 立花ひ
とみ 黒沢真里子 武田茂 田中二郎 小島英亮

各種審議会の委員を委嘱



全体会に出席した委員の皆さんを代表し委嘱状は総合計画審議会の岩崎晋さんが受領しました

5つの審議会に総勢54人
町行政の諮問・審議機関となる5つの審議会の全体会議が10月13日、町総合開発センターで開かれ、各審議会の委員を招集して、委嘱状を交付しました。委員を代表して、総合計画審議会の岩崎晋さん(54)に橋場IIに佐々木町長から委嘱状が手渡されました。
全体会議終了後には各審議会に分かれ初会合。委員長、副委員長の選任、町政への提言が行われ、より良い町づくりへ決意を新たにしました。各審議会の委員と委員長、副委員長は次のとおり総勢54人。任期は令和5年9月30日までの2年間です。

新設中学校建設予定地が決定

沼宮内中用地を利用

令和10年4月に開校予定の新設中学校の用地が、現在の沼宮内中学校用地に決定しました。新設する中学校は、一方井中・川口中・沼宮内中3校を統合。現在の沼宮内中学校のグラウンド部分に校舎や体育館を建設し、現在の校舎部分をグラウンドとして整備します。このほか給食センターも建設する予定です。

町では、令和2年度から「第3次町立小中学校の再編(統合)に関する指針」に基づき、中学校の立地条件などを検討。地区や町PTA連合会との懇談会、住民説明会の開催結果などを踏まえ、「沼宮内中が統合中学校の建設用地に最も適している」と判断しました。町は、将来を担う人材の育成にふさわしい学校をつくります。

☎ 町学校教育課学校教育係 ☎ 62-2111 (内線351)

冬が近づき朝晩が冷えこむ季節となりましたが、水道の凍結にご注意ください。水道の凍結は気温が氷点下4度以下になると起こりやすくなります。

おやすみ前やお出かけの際には**忘れずに水抜きしてください**。なお、水抜き栓の開け閉めについては、全開・全閉の状態にしてください。半開きのままだと水道水が地下に流れ出てしまい、使用水量が増えてしまいます。万が一、水道管が凍結してしまった場合は指定工事店に解凍の依頼をしてください。

【町内の指定工事店】

- ・家村鉄工所 ☎ 62-2780
- ・一方井採石(有) ☎ 62-2711
- ・上路水道 ☎ 62-3119
- ・田中工務所 ☎ 65-2104
- ・(有)田村水道 ☎ 62-3107
- ・(有)中居建設 ☎ 62-3814
- ・西村水道 ☎ 62-2832
- ・村田水道 ☎ 62-3602

要注意の気温
マイナス4℃以下



☎ 町水道事業所管理係 ☎ 62-2111 (内線372)

冬季の水道凍結に注意

岩手町総合計画

7つの基本目標

7つの基本目標の下、34の施策があります。各施策は、すべてSDGsの理念を踏まえ取り組んでいきます。

住むひと・来るひとみんなで創るまち

たくさんの方が町に住み、活力のある町を目指すために地域コミュニティの活動を活性化させていきます。地域に担い手となる大人や子どもがいて、活力のあるまちを目指すために、人のつながりを大切に、自分たちの地域やまちを自ら考えて行動し、全員参加型のまちづくりを目指します。



ひとと文化を大切にする教育のまち

町の皆さんが地域の文化やスポーツに親しみ、その価値を学び、地域の宝を次世代に引き継いでいける環境づくりを行います。これからの社会をたくましく生き、子どもたちの個性が伸びるような学校教育と地域社会の中で生かされる町の特色のあるひとづくりを中心とした社会教育を進めます。



安全で安心して住み続けられるまち

暮らしに必要な社会基盤の道路や河川、上下水道を地域特性に考慮しながら整備し、住民の利便性を高め、快適に暮らすことができる環境を整えます。また、交通安全や防犯意識の高揚を図るとともに、防災体制の充実に取り組み、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。



次世代につなぐ地域経営のまち

多様化・高度化する行政ニーズに 대응していくため、自立した行政の実現を視野に、地域経営力の向上を図ります。すべての皆さんが将来にわたって住みやすさを実感できるまちづくりをめざし、町の事務事業などを常に見直すとともに、町の未来も見据えた情報化施策も積極的に推進します。



町は基本目標と併せて、SDGs(持続可能な開発目標)を推進します。

多彩な産業振興で未来を拓くまち

産業の活力を生み、次世代への技術承継や人材育成を支援することで、地域にチャレンジする気風とそれを支援できる環境を育み、地域産業全体の活性化を目指します。基幹産業の農林畜産業や商工業の事業者が活力を持ち続けることができる体制を築き、地域資源の魅力を生かした観光施策を推進します。



幸せと笑顔があふれる健康福祉のまち

町の皆さんが互いに認め合い、助け合い、生きがいを持って暮らせるよう、町の培ってきた住民第一の福祉体制や地域医療の維持・充実、高齢者福祉サービスのさらなる充実を図っていきます。安心して子育てができる環境づくりを進め、全世代が安心して暮らせる健康福祉のまちづくりに取り組みます。



ひとと自然が共存する持続可能なまち

町の美しい自然と共存し、次世代に継承していくために、長期的・総合的視点に立って計画的なごみ処理の推進を図ります。また、快適な生活環境を維持・向上していくため、町の皆さん、事業者、行政などが連携し、身近な生活環境に配慮した公衆衛生環境の向上を目指します。資源エネルギーの分野では、省エネルギーの促進と共に、資源・エネルギーを効率よく活用するなど、技術革新の普及に取り組めます。



まちひと きらり

「まち・ひと きらり」では、きらりと光る町の出来事や輝く人たちを紹介します。あなたの地域・職場での話題をお寄せください。

Topic 01

オリンピック出場記念植樹 偉業讃え次世代へつなげる

東京オリンピックホッケー女子日本代表の及川葉選手が10月12日、町総合運動公園で記念植樹を行いました。式では、ベルリン五輪に出場した選手に贈られたドイツカシワ（オリンピック・オーク）の種から育てられた苗木を植樹。オリンピックの活躍を讃え、及川さんと佐々木町長、及川さんの母校、沼宮内小のいわてホッケー少子に所属する上沢小夏さん（6年）、小沢緑さん（5年）が記念植樹を行いました。及川さんは「東京五輪では、関係者や多くの人の応援があったから最後まで戦い抜くことができました。生まれ育った町の総合運動公園に植樹をできて、とてもうれしい」と感謝と喜びを報告。植樹式に参加した上沢さんは「及川さんは憧れの選手。自分も将来オリンピックに出場できるように頑張りたい」と声を弾ませました。



①表敬訪問でアジア大会への決意を話す及川葉選手②及川葉選手の東京五輪出場の偉業を讃えた記念植樹

Topic 02

安全意識をしっかりとって 自転車シニアカー安全教室



体育館の体験コースを走るシニアカーに「交差点では一時停止をしてしっかりと左右の確認が必要」と指導する田中清憲町交通指導隊班長

自転車とシニアカーの交通安全教室が9月29日、沼宮内公民館体育館で行われました。岩手警察署（藤林隆博署長）交通課職員の歩行シミュレーターを使った講習や町交通指導隊（瀬川實隊長）のシニアカー安全講習、自転車整備の指導が行われ、34人が参加。同教室は秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）の期間に合わせ8年前から町内で実施していましたが、同地区の開

催は初めてです。瀬川隊長はシニアカーの特性や、踏切内で車両が停止したときに素早く出るための対処方法を説明し、「交通ルールを誤ると大きな事故につながる。意識して交通ルールを守ってほしい。」と参加者に注意を呼び掛けました。久保ミサさん（86）は「大町はシニアカーの軽快な走行を体験し、左右をしっかり確認する大切さを再認識した」と振り返りました。

My Dream

私の夢 No.385 僕の夢



丹内 栞蓮さん（沼宮内小5年）

夢はイラストレーター

栞蓮さんは、小さいときから絵を描くのが好きで、将来の夢はイラストレーターになること。友達からのリクエストに応じて「鬼滅の刃」などの漫画を描くことも多いそう。体を動かすことも好きで、鬼ごっこやドッジボールで遊ぶことが多い栞蓮さん。好きな教科は算数と図工で、「図工は、木や葉っぱを描くときによく観察して描くよう取り組んでいます」と笑顔を見せます。「将来はいろいろな絵を描いて、たくさんの人に見てもらいたい」とイラストを描くことに励んでいます。

No.355 お元気ですか

日々朗らかに生き生きと

笹渡 清吉さん(84) =日ノ神子=



早朝4時30分から乳牛5頭の育成に精を出す清吉さん。稲刈りが終わった11月から北山形と岩瀬張地区にある神社のしめ縄づくりに取り組みます。中学を卒業すると「北海道の稚内市や帯広市で林業や除雪業に従事しましたが、当時は青森まで鈍行列車に揺られ函館まで連絡船を乗り継ぐなど、移動に合計2日半かかった」そうです。クレーンを使ってパルプ材をトラックに積み込むのが誰よりも早く「1人で2人分動く」と同僚からほめられたのがうれしかったと振り返る清吉さん。「北海道はずっしりした重い雪が1晩で1尺も積もり、びっくりしました」としみじみ語りました。魚をさばくのが好きで、ときには娘さんが釣ってきた大きなマスをお酒のお供に、地元の仲間と語り合うのが楽しみです。



お子さんの紹介
なまえ（地区）
保護者から一言

1歳児健診に来てくれたお子さんの
かわいい笑顔を紹介しします。



杉謙太さんの長女
杉 玲緋ちゃん（川原木）
いっぱい笑って
大きくなってね！



高村豊さんの次女
高村 和花ちゃん（大平）
たくさん食べて大きくな
ってね！



岩崎大希さんの長女
岩崎 のどかちゃん（雪浦）
癒しの笑顔をいつも
ありがとう♡

北上川の源泉
る狐の泉



いつか
どこかで



感 ○一方井中「朗読教室」 ▼10月12日
 情豊かに表現してみよう

一方井中(松本隆校長、生徒37人)は10月12日、同校の体育館で朗読教室を開催しました。アナウンサーの後藤のりこさんを講師に、「相手に伝え、表現するスキル」を磨くことを目的に行われたこの教室。生徒は声がきれいに響くための腹式呼吸や発声の仕方を学んだ後、グループに分かれ朗読劇「どろぼうがっこう」に挑戦。生徒は配役になりきり台詞を感情たっぷりに読み上げ、物語の世界を豊かに表現しました。3年の千葉将貴さんは「言葉に感情を込めた表現ができて楽しかった」とコミュニケーションの学びを深めました。



生徒は口角を上げて滑舌を良くする発声練習に取り組みました



真剣な表情で競技に取り組む参加者

パ ○一方井公民館「ポッチャ大会」 ▼10月18日
 ラ種目のポッチャに挑戦

一方井公民館(遠藤一彦分館長)は10月18日、同館でポッチャ大会を開催しました。ポッチャは目標球の白いボールに向けて赤、青の6球ずつボールを投げ、いかに目標に近づくかを競う、パラリンピック正式種目のスポーツ。参加者24人はカーリングのように相手の球を弾く戦術を考えながら、参加者同士で「がんばれ!」と声を掛け合い、競技を楽しみました。遠藤ナミ子さん(75)＝黒石＝は「同競技をテレビで見て参加したが、ボールを寄せるのが思ったよりも難しかった」と笑顔を見せました。



悩んでいる人に温かく声を掛けることが重要と話す赤平美津子さん

地 ○ゲートキーパー養成講座 ▼10月19日
 域でできるこころの支援

悩んでいる人の心のケアを行うゲートキーパーを養成しようと町は10月19日、岩手広域交流センタープラザあいでゲートキーパー講座を開催しました。岩手医科大学の赤平美津子特命助教を講師に、受講者53人は身近な人へ温かい支援を広げていくことの重要性や、相手の気持ちに焦点を当てる傾聴の方法を受講。参加した花田和子さん(71)＝駒通＝は、「講座内容が分かりやすかった。悩んでいる人の話を聞いたときに、どう接したらいいか学ぶことができよかったです」と振り返りました。

雨 ○県中学校新人大会(ホッケー競技) ▼10月16日
 中の激闘川口中男女優勝

県中学校新人大会(ホッケー競技)は10月16日、町ホッケー場で行われ、冷たい雨の中で町内3中学校が熱戦を展開しました。結果は、サイドからの素早い攻めで大量得点を挙げた川口中男子、堅実なチームプレーで好機を捉えゴールを決めた川口中女子が優勝。各校の選手は観客が見守る中練習の成果を発揮しようと、選手同士で声を掛け細かいパスをつなぎ、コート駆け抜けました。

【大会結果】 ▼男子 ①川口中 ②沼宮内中
 ▼女子 ①川口中 ②沼宮内中



ゴール前でボールを激しく競り合う選手

秋 ○一方井小「収穫体験」 ▼10月14日
 の実りにイモ掘りを体験

一方井小(佐々木悟校長、児童73人)は10月14日、学校近くの畑で夏から育てたサツマイモの収穫体験を行いました。一方井地区営農組合(黒沢金一組合長)や4H(農村青年)クラブの協力のもと、2年生15人が参加。児童は大きく育ったサツマイモを土の中から掘り起こしては、歓声を上げました。1,670gの一番大きなサツマイモを収穫した帷子昊志郎さんに賞状が贈られ、児童は焼きイモを試食。青空の下でホクホクして甘い秋の味覚と、収穫の喜びに満面の笑みを浮かべました。



黒沢金一組合長と大きなサツマイモを掘り出して喜び児童

旬 ○川口公民館「季節の料理教室」 ▼10月20日
 の食材で心と体を元気に

川口公民館(高橋健悦分館長)は10月20日、働く婦人の家で季節の料理教室を開催しました。教室ではレストラン石神の丘の高間木浩料理長を講師に、町の食材を使った「黒内豆腐の和風カブレーゼ」や「やまと豚と産直野菜の肉汁うどん」などオリジナルレシピ3品を調理。参加した9人は、高間木シェフから調理のコツとおいしく見える盛り付けの方法を丁寧な指導で学び、調理の楽しさを味わいました。参加した竹田肇さん(76)＝上町＝は「手の込んだ料理を作って楽しかった。学んだことを今後に生かしたい」と充実した表情で感想を話しました。



料理教室を通じて地域を深めた参加者



秋の全国地域運動活動で沼宮内小通学路「ながら見守り運動」を行った皆さん

あ ○下校時見守り活動 ▼10月13日
 いさつが広がる防犯の輪

町防犯協会(武田茂会長)と岩手警察署(藤林隆博署長)は10月13日、沼宮内小通学路で下校児童の見守り活動を行いました。町内の防犯関係者20名は同小の下校時間に、日常生活の中で防犯の視点を持って子供の安全を見守る「ながら見守り活動」を実施。下校途中の児童に「車に気をつけて」と明るく声を掛けました。町少年警察ボランティア協会長の松村昭一さん(68)＝横田＝は「これからも子どもたちが楽しい学校生活を送れるよう防犯活動に取り組みたい」と意気込みました。



階段を元よく利用する一方井小の児童

○自ら考え、実践する地域づくり ▼9月22日
 方井小通学路に階段設置

一方井地区自治振興会連絡協議会(武田茂会長)は9月22日、旧一方井診療所付近にある斜面の通学路が便利になるよう木製の階段を設置しました。この階段は、地域の皆さんや一方井小学校区安全ネットワーク会議の「同小や同中学校へ登校する子どもたちが安全に通学してほしい」という思いを受け、同協議会が地域で対応策を検討。町の「自ら考え、実践する地域づくり事業」補助金を活用し、階段が新設されました。取材に訪れた10月7日、児童は笑顔で階段を昇り、元気に登校しました。

地域で見守る子育て家庭

11月は児童虐待防止推進月間です！

児童虐待防止推進月間

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、地域全体での虐待防止の取り組みを推進しています。

児童虐待とは

児童虐待は次のような行為が挙げられます。

- ① 身体的虐待
殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど
- ② ネグレクト(育児放棄)
家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置するなど
- ③ 性的虐待
子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど
- ④ 心理的虐待
言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子ども

の目の前で暴力をふるうなど

子どもの関わり方の工夫

- ・子どもの気持ちや考えに耳を傾けましょう
- ・「言うことを聞かない」にもいろいろあります
- ・子どもの成長・発達によって異なることがあります
- ・子どもの状況に応じて、身の周りの環境を整えてみましょう
- ・注意の方向を変えたり、子どものやる気に働きかけてみましょう
- 肯定文でわかりやすく、ときには一緒に、お手本に良いこと、できていることを具体的に褒めましょう

子どもや保護者のサイン

- 地域で子育て家庭を見守ることが虐待防止につながります
- 子どもや保護者のこんなサインを見落としていませんか？
- 子どものサイン

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がある
- ・不自然な傷や打撲の跡がある
- ・衣類や体がいつも汚れている
- ・表情が乏しい、活気がない
- ・夜遅くまで一人で遊んでいる
- 保護者のサイン
- ・地域などと交流が少なく孤立
- ・小さな子どもを家に残したまま外出している
- ・子どもの養育に関して拒否的、無関心
- ・子どものけがについて不自然な説明をする



あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。

- ・町健康福祉課子育て支援係 ☎ 62-2111 (内線566)
- ・県福祉総合相談センター ☎ 019-629-9605
- ・児童相談所虐待対応ダイヤル ☎ 189 (近くの児童相談所につながります)

ご存知でしたか？ マイナンバーカードを保険証として利用できます

問 町民課 国保年金係 ☎ 62-2111 (内線502)

顔認証付きカードリーダーのある医療機関で、マイナンバーカードを保険証として利用できるようになりました。この「カード」を保険証として使うことで就職や転職、引っ越しなどをしたときに、保険証の切り替えを待たずに受診できます。また、医療保険の資格確認がスムーズになり、医療機関や薬局の受付事務処理が効率的に行われるようになります。「カード」を持っていない人はこの機会に是非お申し込みください。

【申込方法】 「カード」を健康保険証として利用するためには、**事前の登録が必要です**。登録の申し込みはマイナポータルでできます。iPhone Android スマートフォンなどでも登録できます。マイナポータルアプリのインストールはこちら⇒

【その他】 開始時期は医療機関によって異なります。健康保険証としての利用には、ICチップの中の電子証明書を使います。医療機関の窓口でマイナンバー(12桁の数字)を扱うことはありません。

「カード」の申請はこちらから⇒

子どもが急病のとき

こども救急相談電話

【受付時間】 午後7時～11時(年中無休)
【電話番号】 局番なしの☎#8000 ※ダイヤル回線電話、IP電話(ひかり電話)、PHSからは☎019-605-9000

診療時間外の受診

■軽い病気と思われる場合、休日の日中は休日当番医を利用ください。夜間は平日、休日問わず夜間急患診療所を利用ください。
▽盛岡市夜間急患診療所 受付時間：午後7時～11時 (盛岡市神明町3-29盛岡市保健所2階 ☎019-654-1080)
日中の診療時間に受診できる人は、なるべく日中の時間内に受診しましょう。

■症状が重い場合

【受診場所】 小児救急入院受入当番病院(下記予定表のとおり)
【対象】 症状が重く入院が必要と思われる子どもと、盛岡市夜間急患診療所や休日当番医が診療していない時間帯の急病の子どもを受け入れます。夜間は午後5時から翌朝9時までです。

日	月	火	水	木	金	土
	1 中央	2 日赤	3 国立	4 中央	5 日赤	6 中央
7 中央	8 日赤	9 中央	10 国立	11 日赤	12 中央	13 日赤
14 中央	15 日赤	16 中央	17 国立	18 中央	19 中央	20 国立
21 中央	22 日赤	23 中央	24 国立	25 日赤	26 国立	27 中央
28 日赤	29 中央	30 中央				



左のQRコードからも当番病院を確認できます

【受付時間】 土曜は午後1時～5時、夜間は午後5時～翌朝9時
【注意】 日中の診療時間に受診できる人は、時間内に受診してください。また、重症な子どもの治療に支障をきたさないよう、まずは盛岡市夜間急患診療所を受診しましょう。日曜、祝日の日中は休日当番医を受診してください。

■当番病院の連絡先

【中央】 県立中央病院 ☎019-653-1151
【日赤】 盛岡赤十字病院 ☎019-637-3111
【国立】 国立病院盛岡医療センター ☎019-647-2195

一人で悩まず相談ください

町傾聴ボランティア 【開催日】 毎月第2、第4月曜日
「おひさまサロン」 (祝日の場合翌日)
※予約不要です。悩み事を【時間】 午後1時～3時
話してみませんか？ 【場所】 プラザあい1階
▶役場健康福祉課 ☎62-2111 (内線564)

▶盛岡いのちの電話 ☎019-654-7575 (正午～午後9時、日曜日のみ午後6時まで) ▶県精神保健福祉センター ☎019-622-6955 (午前9時～午後4時30分)

県男女共同参画センターでは、家族、職場の悩み、交際相手や性別、性指向(LGBT)に関する悩みなどの相談を受け付けています。
▶男女共同参画センター相談室 ☎019-606-1762

医療

休日当番医 【受付時間】 9:00～17:00

11月

日(曜)	当番医
3(水)	佐々木医院
7(日)	佐渡医院
14(日)	塚谷医院
21(日)	さわやかクリニック
23(火)	岩手沼宮内クリニック
28(日)	北上脳神経外科クリニック

12月

5(日)	佐藤整形外科クリニック
12(日)	沼宮内地域診療センター
19(日)	佐々木医院

当番医実施医療機関の電話番号

▶岩手沼宮内クリニック	61-2025
▶北上脳神経外科クリニック	61-3636
▶佐々木医院	62-2234
▶佐藤整形外科クリニック	68-7240
▶佐渡医院	62-3211
▶さわやかクリニック	62-2043
▶塚谷医院	62-1155
▶沼宮内地域診療センター	62-2511

県立中央病院附属 沼宮内地域診療センター

診療科	診療日	受付時間
内科	月～金曜日	8:30～11:30
外科		
応援診療科(11月)		
脳神経外科 ※要予約	9日	8:30～11:00
循環器(内科) ※要予約	1、5、8、12、15、19、22、26、29日	12:30～14:30
小児科	5、26日	13:00～16:00
皮膚科	9、30日	13:00～15:30
整形外科	19日	8:30～11:00

※休日当番医、応援診療科は予定を変更する場合がありますので、あらかじめ電話で確認の上、来院ください。

衝撃だった写真家の姿

～NEAR EQUAL 森山大道～

町の地域おこし協力隊が毎月、岩手町の魅力をお伝えします。



森山大道さんに影響を受け購入したカメラとDVD
タイトル「ニア・イコール」は「ほぼ等しい」意味

10月2日に「沼宮内稲荷神社奉納」に行き参りました。コロナウイルスの影響でパレード自体は中止となりましたが、当日、4つの郷土芸能団体による踊りも披露され、ささやかながらお祭りの雰囲気を感じました。来年こそは、秋祭りを見てみたいと真に思います。話は変わりますが、今回は、写真家、森山大道さんのドキュメンタリーDVD「ニア・イコール」を紹介いたします。私が写真始めて間もない頃、写真撮影とは「脇を締めファインダーを覗き、画がブレないようにしっかりと撮影するもの」と思っていま

Vol. 45

地域おこし協力隊の

KOBIRU じかん

今月は老松が担当します



KOBIRU じかんの「こびる」とは、「農作業の合間の休憩、軽食」の意味。農作業の休憩時間に、気軽に読んでほしいと思いを込めたコーナーです。

町のSNSフォローをお願いします！



した。映像の中にはタバコを吹かしながら少しだるそうに歩き、片手でシャッターを切る男、森山大道の姿がありました。またインタビューでは、自分のことを包み隠さず淡々と話します。映像を通して、その人柄に共感と親しみを覚えました。後半では、忌野清志郎さんの曲に合わせて、雑多な新宿の夜の街をすごいスピードで歩き、撮影する姿が印象的でした。今までの価値観が覆され、写真に対して悩みを持っていた当時の自分は「こんな撮り方でもいいんだ、写真は撮れるんだ」と、自信と勇気をもらいました。今後も固定概念にとらわれることなく、自由に柔軟な発想をもって、写真撮影を続けていきたいと思っています。



図書館だより

町立図書館 ☎62-2877

新着図書



「知の巨人」立花隆のすべて



高齢者を身近な危険から守る本



彼方への挑戦



日常と科学の間にあるモヤモヤを解消する本

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

【開館時間】 午前9時～午後6時
※赤マスの日は、休館日です。

図書館の行事

◇雑誌もってけ市◇

【日程】11月2日(火)～なくなり次第終了

◇チビッコ映画会◇ (小学生)

【日時】11月11日(木)、25日(木) 午後3時30分～

◇おはなし会◇ (小学校就学前の親子)

【日時】11月28日(日) 午前11時～

読み聞かせボランティア「おはなし☆きらきら☆」のおはなし会です。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、中止・変更の場合があります。

ジャンル	書名	著者
小説	たそがれ大食堂	坂井 希久子
	アルテミス涙	下村 敦史
	月と日の后	沖方 丁
	旅のない	上田 岳弘
	EV	高嶋 哲夫
	子のない夫婦とネコ	群 ようこ
エッセイ	88歳のジーンズ。	三上 れい子
	やまがみさまのきょだいべんとう	大串 ゆうじ
児童絵本	そらをとびたい	山本 直洋
	人体ジェットコースター	中垣 ゆたか
児童読み物	ながればしのランドセル	光丘 真理
	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂⑩	廣嶋 玲子
児童実用書	子どもたちが綴った戦争体験 第1巻	村山 士郎
	守ろう！みんなの東北 1	青木 健生・原作
	ずかん 世界のくつ・はきもの	鈴木 絵美留・監修

まちの文芸

短歌

立ち止り振り向きながむるわが人生花一輪の芯のごとしも
高橋 系

晴れわたる東の空に中秋の名月を待ち今宵も酔へり
伊藤 一陽

風をうけ我が背に落ちし栗の実のころが先は草むらの中
愛木タエ子

しわ深き笑顔の母はまた来てと手を振りつつも何処か寂しげ
瀬川 浩美

離れ住む二十歳の孫は電話にて吾が誕生日祝ひてくれし
岩館 カツ

薔薇の花風に揺らめく十月の午後の日々の保育所の庭
昆野 功夫

列島にまた颱風の襲ひ来て余波と思しき秋桜揺るる
山口 國男

雨音を聞くと心のおちつきて年老いたりと思ふ日々なり
橋本 智代

俳句

見あぐれば更け行く空に後の月
伊藤 一陽

月見酒飲み損なうて自肅かな
遠藤 金作

田仕舞や薄暮の中に塵を焼く
遠藤 初枝

血圧を計り直すやそぞろ寒
昆野 功夫

整枝せる公孫樹を抜けて子等の歌
志田 悦朗

逆境に耐へし案山子の総並び
向井 梅子

実を結ぶ草にもあらず素十の忌
山口 國男

川柳

〈入選作〉
題詠「計る」 鍋倉るみこ 選

CTに命の長さ計られる
佐藤 小草

体重増え身長縮む老いとなり
土橋はつお

分量計らずとも味が良い
柴田 満子

人間を計る計りはてんでんこ
馬淵 草

背文を計ってびっくり縮んでる
久慈 正和

計らずもと座らせられた決め台詞
山口 國男

認知症友の苦しみ計り知る
自 句

納税を忘れずに

■役場税務会計課

所得税及び復興特別所得税の納付期間は、11月1日(月)から11月30日(火)までです。振替納税を利用している人は、納期限(11月30日)に指定の金融機関の預貯金口座から自動的に引き落としされます。

振替納税を利用していない人は、納期限までに金融機関または、所轄税務署の窓口で納付してください。また、電子納税もできますので、ぜひご利用ください。

なお、10月31日の現況による令和3年分の「申告納税見積額」が税務署から通知されている「予定納税基準額」よりも少なくなると見込まれる場合などは、予定納税の減額申請をすることができます。

第2期分の予定納税の減額申請をする場合は、11月15日(月)までに「予定納税額の減額申請書」に必要事項を記載した上で所轄税務署に提出してください。

税務署では、申請について承認、一部承認または却下のいずれかを決定し、結果を书面通知します。詳しい手続きは国税庁のホームページをご覧ください。

☎ 役場税務会計課課税資産係 ☎62-2111 (内線522)

多重債務相談窓口

■借入金などの無料相談

東北財務局盛岡財務事務所では借入金を返済することが難しくなったなどの相談に応じています。(秘密厳守・無料)

【相談電話】 ☎019-622-1637

【曜日・時間】 月～金曜日(祝日、年末年始除く)午前8時30分～正午、午後1時～4時30分

☎ 東北財務局盛岡財務事務所 ☎019-625-3353

土地の境界問題相談

■県土地家屋調査士会

県土地家屋調査士会では、盛岡地方法務局と共催で土地の境界問題に関する相談会を開催します。

【日時】 12月4日(土)午前10時～午後4時(予約不要)

【会場】 アイーナ8階 806、807会議室

【内容】 土地の境界に関する相談に、相談員が回答します。

【費用】 無料

☎ 県土地家屋調査士会 ☎019-622-1276

女性の無料法律相談

■女性司法書士の相談会

県司法書士会では、女性の相談者を対象に、女性司法書士が電話無料で相談に応じます。

【日時】 11月3日(水・祝)午前10時～午後4時(予約不要)

【相談電話】 ▼☎0120-823-815(フリーダイヤル) ▼☎019-623-3355(通話料有料)

☎ 県司法書士会事務局 ☎019-622-3372

林業退職者共済金

■退職金制度へ加入しましょう

林業退職者共済制度は、林業で働く人のための国の退職金制度です。掛金は、税法上で法人では損金、個人企業では必要経費となります。事業者は、共済証紙を労働日数に応じて、適正に貼り付け、共済手帳を持っている従事者が林業界を引退するときは、忘れずに退職金を支払うよう指導しましょう。

☎ (独)勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部 ☎03-6731-2889

国民年金保険料の免除

■免除・猶予申請を忘れずに

経済的に国民年金保険料を納付することが困難な場合、本人からの申請で、納付猶予や全額免除、または一部が免除になる制度があります。免除の割合に応じて、一定の年金額が保障されるほか、万が一の際の障害年金や、遺族年金が確保されます。詳しくは役場やお近くの年金事務所へご相談ください。

☎ ▼日本年金機構 ねんきん加入者ダイヤル ☎0570-003-004 ▼盛岡年金事務所 ☎019-623-6211

自治会など活動を助成

■地域の福祉向上事業

(社福)県協同募金会では、地域の福祉向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体、自治会などの事業を支援します。

【申請期間】 12月15日(水)まで
【助成対象】 地域の福祉活動に直接使用する機器・用具、備品の購入経費

【助成額】 1万円～20万円

【申込方法】 申請書を町社会福祉協議会まで提出ください。実施要領と申請書は同会のホームページ「助成事業」からダウンロードできます。

☎ 社会福祉法人県共同募金会 ☎019-601-7037

防災無線を電話で確認

■直近の放送内容が聞けます

町防災行政無線で放送した内容は、直近の内容を自動音声で確認できます。(火災や緊急時除く)

【自動音声電話】 ☎62-5367

☎ 町企画商工課企画広報係 ☎62-2111(内線215)

高齢者などの無料相談

■なんでも110番

岩手弁護士会では、高齢者や障がいを抱える人やその家族が日頃抱える法律や介護問題の解決を目的に、「高齢者・障がい者なんでも相談会」を開催します。

【日時】 11月24日(水) 午後1時～5時

【会場】 県福祉相談センター3階

【電話相談】 ☎019-625-0110

☎ 東海林法律事務所 ☎019-623-9511

引きこもり親の集い

■あらぐさの会

あらぐさの会では、引きこもりや学校へ行けなくなっているなどの悩みを、1人で抱え込まないよう相談会を行います。

【日時】 11月17日(水)、12月15日(水) 午後1時30分～3時30分

【場所】 野口町バス停前

☎ 葎原章子 ☎090-3127-9896

成年後見相続相談会

■高齢者・障がいを持つ人

県司法書士会では、高齢者や障害を持つ人のための無料相談会を開催します。

【日時】 11月23日(火・祝) 午前10時～午後4時

【会場】 県司法書士会館

【電話相談】 ▼☎0120-823-815 ▼☎0120-333-184(常設相談)

☎ 県司法書士会 ☎019-622-3372

検察審査員の選定通知

■不起訴処分の善し悪し判断

検察審査会制度は、検察官が被疑者を裁判にかけなかったことの善し悪しを審査します。審査員は、20歳以上の有権者の中から「くじ」で選ばれます。来年度の候補者に選ばれた人には11月中旬に通知書が届きます。

☎ 盛岡検察審査会事務局 ☎019-622-3391

保育士の就職支援研修

■潜在保育士の再就職支援

県社会福祉協議会では、潜在保育士の再就職支援のための研修会を開催します。

【日時】 11月25日(木)、12月23日(木) 午前9時30分～正午

【会場】 ふれあいランド岩手

【締切】 11月19日(金)

☎・☎ 県保育士・保育所支援センター ☎019-637-9605 FAX 019-637-9612

アイヌの人の電話相談

■相談無料、匿名可、秘密厳守

(公財)人権啓発相談センターでは、アイヌの人々のための電話相談を行っています。

【相談専用電話】 ☎0120-771-208(フリーダイヤル)

【受付】 月～金曜日

【時間】 午前9時～午後5時

☎ (公財)人権教育啓発推進センター ☎03-5777-1802

油もれを防ごう

■盛岡中央消防署岩手分署

冷えこみが厳しくなり、暖房器具やホームタンクを使用する機会が増えると、不注意による油の流出事故が増加します。

【次のことに気をつけましょう】
▼ホームタンクは転倒しないように固定する ▼ホームタンクや配管にキズがないか確認する ▼タンクからの小分け中はその場を離れない

また、空気が乾燥し、火災の発生しやすい時期を迎えますので火の取り扱いには注意が必要です。地震などによる火災を予防するため家具などの転倒防止対策を行い、住宅用火災警報器を設置しましょう。火事や救急などの緊急事態には、慌てず119番通報しましょう。

☎ 盛岡中央消防署岩手分署 ☎62-6119

統合失調症の懇談会

■治療する人の家族を対象

町では、統合失調症などで治療を受けている人の家族を対象に、懇談会を開きます。

【日時】 12月2日(木)午後1時30分～4時30分

【場所】 役場1階談話室

【対象者】 治療を受けている人の家族(治療中の本人は対象外)

【申込方法】 11月30日(火)までに電話などで申し込みください。個別相談を希望する人は別途お知らせください。

☎・☎ 町健康福祉課福祉支援係 ☎62-2111(内線512、514)

9月受け付け分

●お婿さん、お嫁さん● 3組 (4組)

日	お名前	世帯主	行政区
19	セラドサントス 拓也ルーカス 滝川 美貴子	本人 和男	通 駅 下 愛宕下
28	武田 直樹 佐々木 春香	本人 武田直樹	土 川 川
28	帷子 峻 柴田 絵里	武美 本人	下 浮島 滝 沢市

●生まれたお子さん● 5人 (6人)

▼9月

日	お名前	保護者	行政区
8	関根 凛	竜 太	石 神
10	地切 蒼翔	和 也	野 原
17	丹内 慶	翔 太	笈の口
21	武田 壱心	朋 樹	下 黒内
22	早坂 侑那	浩	尾 呂部

●亡くなられた人● 23人 (33人)

▼9月

日	お名前 (年齢)	世帯主	行政区
1	小沢 キミヨ (79)	和 彦	下 愛宕下
1	高橋 ヒサ (100)	栄 基	駅 前
2	山本 サイ (92)	本人	上 嶋 沢
4	遠藤 美代子 (72)	美 妃	上 五 日 市
4	田中 ミノリ (69)	真 理	上 嶋 沢
5	幅 勇 (86)	ト ミ	大 坊
8	澤屋敷 恵太良 (90)	本人	上 大 町
9	大山 慶三郎 (84)	倍 子	山 道
10	伊藤 秋男 (78)	本人	新 町
11	竹村 マツエ (80)	利 幸	水 無
14	浮中 フミ (98)	本人	江 刈 内
16	田中 タマ (93)	本人	水 堀
17	千葉 幸助 (88)	幸 道	境 田
17	井戸 タケノ (98)	本人	野 原
18	岩崎 慧子 (83)	一 義	田 中
18	早坂 美津子 (62)	常 男	川 原 木
22	穀藏 ヤエ (95)	本人	穀 蔵
23	中村 長左エ門 (74)	広 美	細 沢
25	内村 タエ子 (80)	悦 幸	上 苗 代 沢
26	下平 ヨシヲ (93)	本人	下 横 沢
27	白樫 ヤエ (90)	本人	芦 田 内
28	大久保 ヤエ (87)	本人	上 野 口 町
30	佐々木 榮次 (85)	テイ子	野 原

組数、人数の()内は実数です。
町内に住所がある人で、広報に掲載を希望する人のみ掲載しています。掲載希望の有無は、届け出の際に役場町民課にお話しください。

人口の動き

2021.9.30現在 ()内は前月比
【人口】 男 6,128人(Δ10)
女 6,411人(Δ24)
計 12,539人(Δ34)
【世帯】 5,415世帯(Δ11)
【出生】 6人 【死亡】 33人
【転入】 11人 【転出】 18人
【外国人住民】 129人

11月 町民カレンダー

日(曜)	時間	行事	場所
5(金)	9:00 ~	5歳児相談 (平成28年9月1日~10月31日生まれ)	町保健センター
6(土)	9:00 ~	第60回岩手町芸術祭展示部門(~21日)	石神の丘美術館
12(金)	9:30 ~	妊婦教室(1回目) ※対象者へは個別に通知しています	町保健センター
16(火)	9:45 ~	離乳食教室(3~4カ月児の家族)	町保健センター
	10:00 ~	盛岡年金事務所出張相談 (要予約:盛岡年金事務所 ☎019-623-6211)	ゆはず交流館
17(水)	13:00 ~	3歳児健康診査 (平成30年3月9日~5月10日生まれ)	町保健センター
18(木)	8:30 ~	まんまと湯っこの会	町老人福祉センター
19(金)	9:00 ~	人権・行政相談	勤労青少年ホーム
		6カ月児健康診査(令和3年5月生まれ) 9カ月児健康診査(令和3年2月生まれ) 1歳児健康診査(令和2年11月生まれ)	町保健センター
24(水)	13:00 ~		
25(木)	10:00 ~	子育てサロン“すくすく”	保健センター

◆ 町税などの納付期限 ◆

国民健康保険税(5期) 11月30日(火)
後期高齢者医療保険料(5期) □座振替日:11月25日(木)

12月

日(曜)	時間	行事	場所
	9:00 ~	人権相談	勤労青少年ホーム
3(金)			
	9:00 ~	5歳児相談 (平成28年11月1日~平成29年1月20日生)	町保健センター
10(金)	9:30 ~	妊婦教室(2回目) ※対象者へは個別に通知しています	町保健センター
14(火)	9:45 ~	離乳食教室(3~4カ月児の家族)	町保健センター

※広報掲載後に予定が変更になる場合もありますが、そのときは、町ホームページや回覧などでお知らせします。なお、町内の団体などもこの欄をご利用ください。

今月のベストフェイス



沼高祭で将棋部の対局コーナーを楽しむ生徒

体育授業でゴルフ挑戦

3年生12名は10月7日、同校のグラウンドで、選択体育の授業として行われたゴルフに挑戦しました。体育の授業にゴルフを取り入れている高校は県内でも珍しく、初めてドライバーを握る生徒がほとんど。ドライバーの基本的な握り方を教わりながら、初秋の穏やかな日射しの中で、生徒たちはグラウンドに快音を響かせました。参加した民部田星来さんは、「狙い通りにうまくボールが飛んで楽しかった」と笑顔を見せました。



生徒は和気あいあいとゴルフを楽しみました

沼高LIFE



インタビュー

生徒会長 早坂 優希菜さん(2年)

将来の夢はなんですか?

看護師になりたいと思っています。看護師は患者さんとの会話が大切なので、普段からコミュニケーションを意識しています。学校では数学の勉強を頑張っています。

沼高の魅力を教えてください。

地元の生徒は通いやすく、学年同士や学年の枠を越えても仲が良い学校だと思います。明るくて元気のいい生徒が多く、楽しい雰囲気も魅力だと思います。

いま頑張っていることを教えてください。

生徒会で、文化祭の企画や地域のボランティア活動に取り組んでいます。クラブ活動は中学生の頃から卓球部に所属し、今年は県新人戦の地区大会で、団体とダブルスで3位に入賞できました。少ない練習時間の中で成果が出て、うれしかったです。

今月から始まる新コーナー!

沼高WITH

沼宮内高のイベントと学校の魅力、生徒の日常の様子を紹介します。



県北地区大会で銀賞に入賞した吹奏楽部が演奏を披露

生徒発表が輝く沼高祭

文化祭「沼高祭」が10月15日、同校で開催されました。ステージ発表では1、2年の生徒が、「総合的な探究の時間の授業」に自主的に考えた地域課題やグループの解決案を発表。また吹奏楽部は「ルーマニア民族舞曲」など7曲の力強い演奏を行い、会場からは大きな拍手が起こりました。美術部、書道部及び芸術選択授業の作品展示や、クラブ活動や学年ごとに企画した催しが学内で展示され、生徒は自分たちができることによって一生懸命取り組み、文化祭を盛り上げました。

沼高のホームページでも行事の様子をお知らせします





「未来の教室」沼宮内高生が絵本を題材に自分たちができていることを検討

SDGs 未来都市のまち



SDGs (持続可能な開発目標) について紹介。町のSDGsへの取り組みの情報をシリーズでお届けします。

まちづくりはひとづくり

SDGs 未来都市共創プロジェクトでは、「人材育成」にも取り組んでいます。町では、まちづくりの核となる「人」に焦点を当て、令和3年度から沼宮内高と連動し、町内外の人材と関わり合う取り組みを始めています。

「未来の教室」では、都市部の企業や大学などと連携し、各分野で活躍する有識者による授業を実施。同内容を地域でも実施し、高校生だけでなく多世代が共に学び合える場をつくっています。第1弾では、SDGsをテーマにした絵本を題材に、身の回りにある課題を考え企業が行うSDGs達成に向けた取り組みを聞きながら、町と一緒にできることを話し合いました。第2弾・第3弾には、デジタル地図や映像編集をテーマに実践的な学びの場を広げる予定です。このほか「岩手町と僕らの未来開拓プロジェクト(通称:いわぶろ)」で、町内外の大学生と一緒に自身の将来を考え、地域の大人を巻き込んだ活動も行っています。「起業体験プログラム」では、働くこと自体の面白さを体験。普段の学習や自分の将来に向けて、「あるものから選ぶのではなくやりたいことから考える」きっかけづくりをしています。

今後も、人口減少の中でも持続可能な町を目指した取り組みを行いますので、奮ってご参加ください。

このコーナーへのお問い合わせ

☎ みらい創造課政策推進係 ☎ 62-2111 内線 218、219

岩手町SDGs
未来都市
共創プロジェクト



町の皆さんの多才で多彩な作品をごらんください!

第60回 岩手町芸術祭【展示部門】

会期: 11月6日(土)~21日(日)
9:00~17:00 (最終日は15:00まで)
8日(月)、15日(月)は休館

入場無料

- ・画像は昨年度の様子です
- ・今年度の【展示部門】は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止となりました
- 《主催》岩手町教育委員会・岩手町芸術文化協会・岩手町学校教育研究会

■臨時休館・休室のお知らせ■

空調工事のため、美術館は、11月24日(水)臨時に休館します。また、「岩手町芸術祭」終了後、年内いっぱい、館内企画ギャラリーは休室します。



石神の丘美術館
Ishigaki Museum of Art

美術館へのお問い合わせ
TEL 62-1453

編集後記

沼高WITHが開始

今月号から、沼宮内高を紹介する企画「沼高WITH(ウイズ)」が始まりました。「沼高をもっと紹介してほしい!」の声から生まれたこの企画。先生や生徒の皆さんにお世話になりながら取材と編集を進め、誌面から学校の雰囲気(WITH-共に)をお届けできればうれしいです。同高の校章は、笹の葉に雪が積もっている様子を表す「雪持ち笹」に「高」の字を配っています。「笹を覆う雪の白さ、重みに耐える笹の柔軟さ、冬を耐え抜く粘り強さ」でそれぞれ「清潔・強靱・寛容」を表しています。しばれる岩手の冬を、今年も一緒に乗り切りましょう。来月の広報いわてまちもよろしくお願ひします。(中村)

広報いわてまちは、『記者ハンドブック新聞用字用語集第13版』に基づいて記事を作成しています。原則、よるごびかなしみコーナー以外は常用漢字を使用しています。氏名などを掲載する場合も、常用漢字での掲載となります。ご理解をよろしくお願ひいたします。